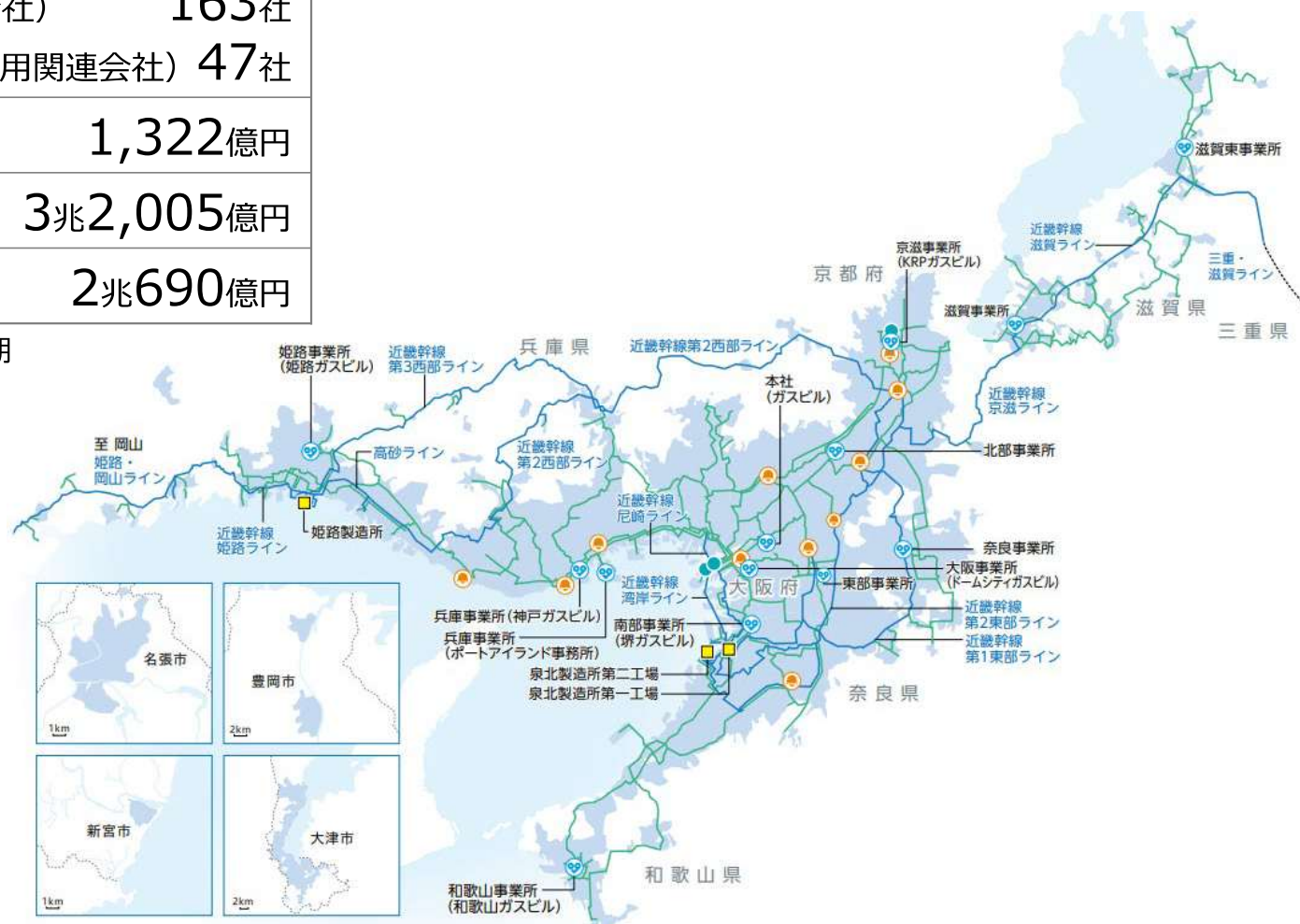


行動変容を促す教育

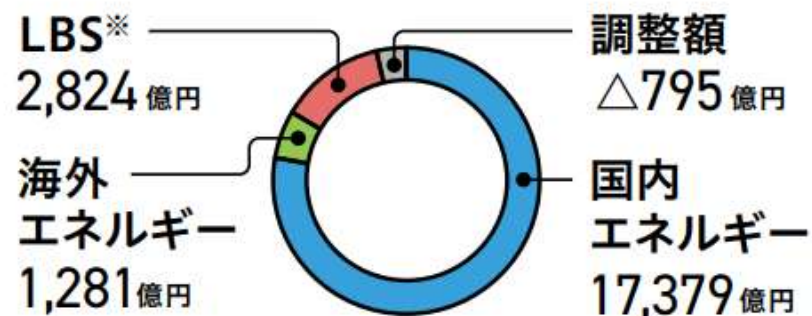
～関心スイッチをどう刺激するか～

2026年7月7日
大阪ガス株式会社

※1 2025年3月末時点 ※2 2025年3月期

Daigasグループの主な事業内容

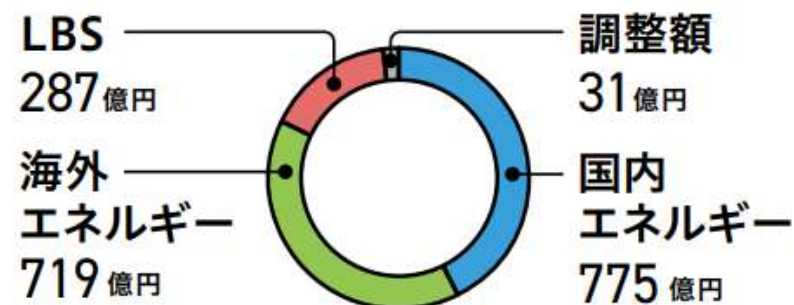
連結売上高



20,690 億円

※ライフ&ビジネス ソリューション

セグメント利益



1,813 億円

(2025年3月末時点、2025年3月期のデータ)

事業セグメント	おもな事業内容
国内エネルギー事業 	ガス販売、ガス機器販売、ガス配管工事、熱供給、LPG販売、LNG販売、産業ガス販売、発電、電気供給
海外エネルギー事業 	海外におけるエネルギー供給、発電、LNG輸送タンカーの賃貸、石油・天然ガスに関する開発・投資
ライフ&ビジネスソリューション(LBS)事業 	不動産の開発・賃貸、情報処理サービス、ファイン材料・炭素材製品の販売

大阪ガス(Daigasグループ)の確定拠出年金制度

特徴①

「自社(グループ会社)運管」による運営

⇒運営管理機関は 大阪ガスビジネスクリエイト(株)

特徴②

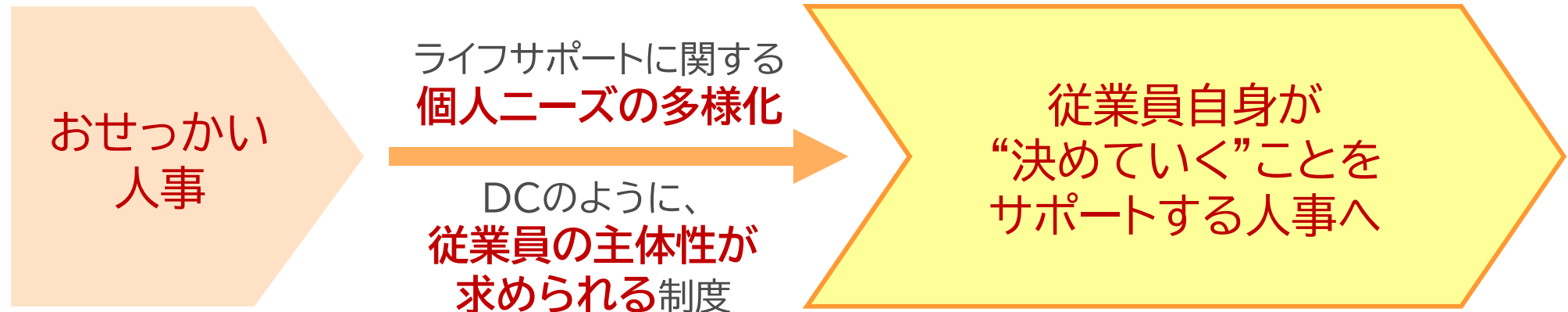
グループ規約により効率的な一体運用

⇒現在、大阪ガスを含めた複数のグループ会社が導入
大阪ガスが代表事業主

特徴

大阪ガス、大阪ガスビジネスクリエイトが
一体となり、制度と教育を継続的に運用

課題と感じていること



DCにおいては……

運用見直しが進まず、金融リテラシーの向上も十分でない

無関心層

▶ 運用の必要性が認識されていない

理解不足層

▶ 商品・制度理解が不十分で判断できない

未受講層

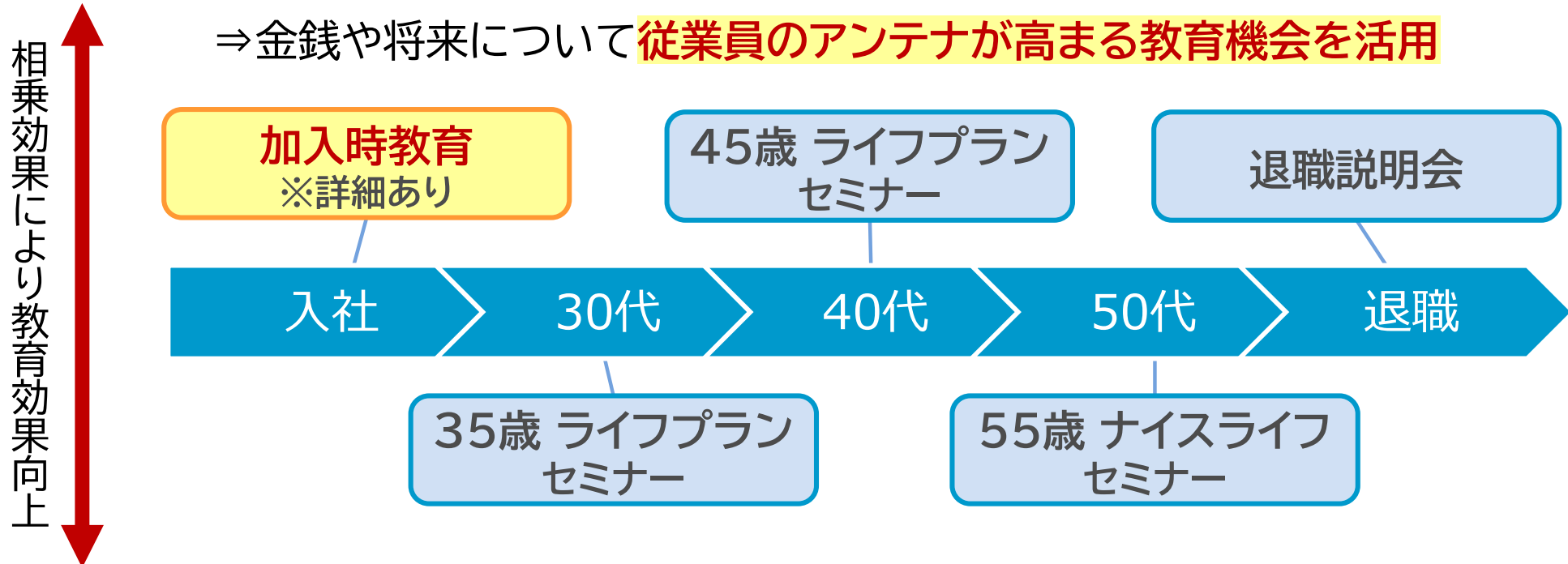
▶ 教育機会に接触していない

自律を促す教育体系の構築

投資教育の内容 ～教育間の相乗効果～

1 入社から退職まで、ライフステージに応じたフェーズ別教育

⇒金銭や将来について**従業員のアンテナが高まる教育機会を活用**



2 常時～1回/年のタイムリーかつ最新コンテンツの発信

社内イントラネット **タイムリーな情報発信に**

確定拠出年金ホームページ **いつでも閲覧可能**

継続教育(eラーニング)
年1回 テーマを厳選 ※詳細あり

学びが行動につながるように工夫したこと

加入時
教育

「入口」を重要視(システム利用、資産配分、意識づけ)

仕掛① 専用サイトへログインしないと提出できない

⇒専用サイト利用に慣れてもらうために、「出席確認票」でログインを強制

仕掛② 紙の配分指定書による運用指図

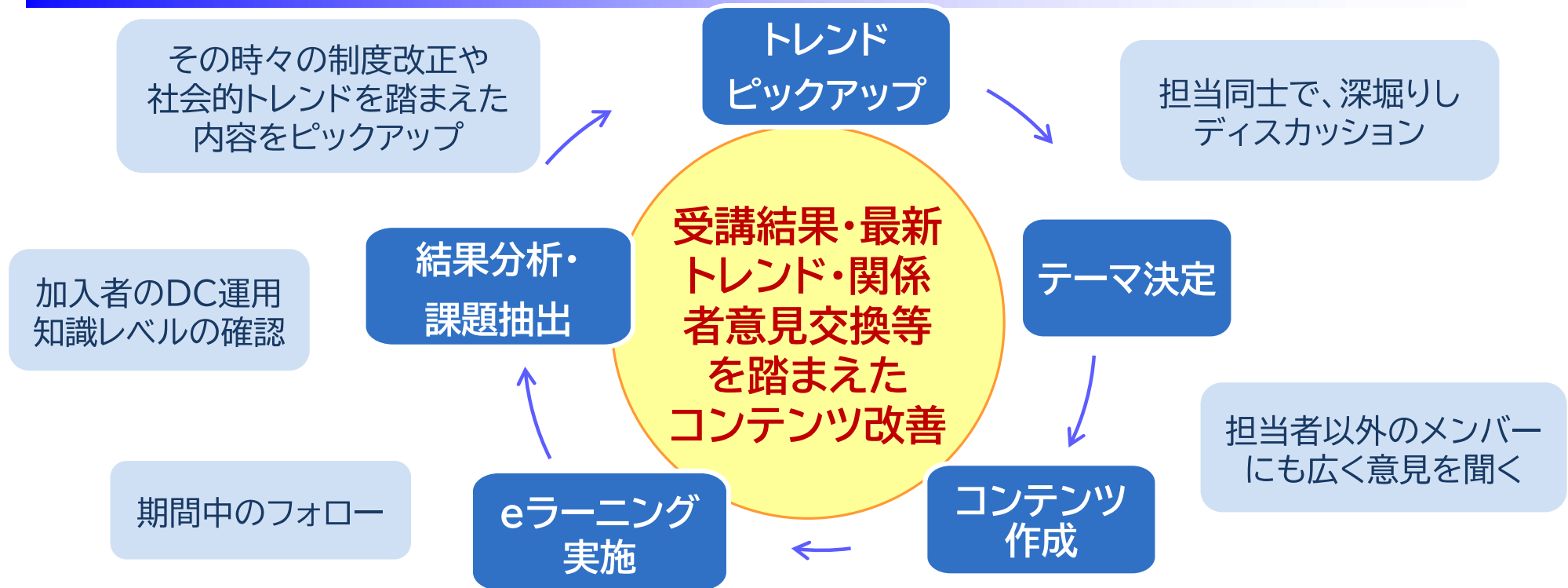
⇒自身で決めた配分に対して責任を持つ誓約書
(約30%強が当初決定した配分を継続する傾向)

仕掛③ 人事部担当者の残高・利回り情報の公開

⇒運用によっては高利回りが達成できるというイメージの提示

学びが行動につながるように工夫したこと

eラーニング



年度	2021	2022	2023	2024	2025
基本	・確定拠出年金制度 ・運用の必要性 ・運用とは	同内容を少しずつ形を変えて繰り返すことで定着			
テーマ	商品追加や繰上償還の商品について	法改正を反映した最新制度の説明	DC専用サイトのリニューアル内容	資産形成の重要性高まり(新NISA開始)を踏まえた内容	「お取引状況のお知らせ」の電子化への対応
最新情報の提供					

3. 「お取引状況のお知らせ」のWEB化(1) WEB化について

年2回、封書で配付している「お取引状況のお知らせ」を、**2026年3月末基準分よりWEB化**します。(確定拠出年金専用サイトで閲覧)

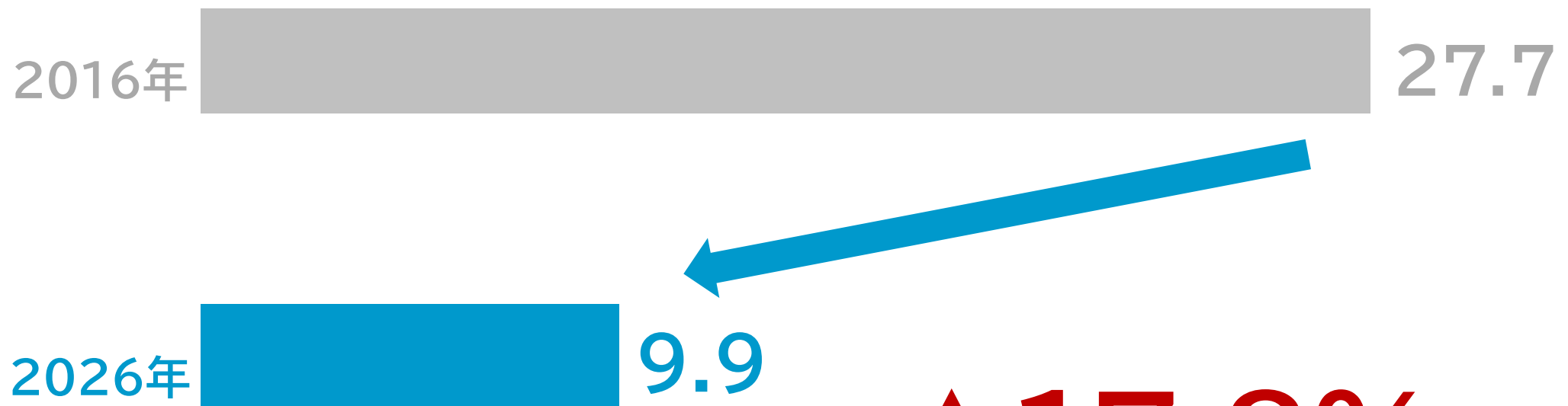


WEB化に伴い、メールアドレス (JIS&T) の登録が必須となります。

学習受講率: 90.45%

投資教育の取り組みによる成果

掛金配分の元本確保型比率が
10年間で大幅に減少！



▲17.8%

(基準月1月)

投資教育の取り組みによる成果

専用サイトの暗証番号登録率
87.9%達成！

(%)

100.0

50.0

0.0

54.0

2016年

87.9

2026年 (基準月1月)

以 上